

臨床研究に関する情報公開

渋川医療センターでは、下記の臨床研究の情報を公開しております。

研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、研究への情報利用についてご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、各研究の研究責任者または、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

脳血管障害後振戦患者における視床機能変化、及び定位的視床手術の有効性に関する研究

[研究責任者]

平戸政史

[研究の背景]

脳卒中後振戦は患者さんの日常生活の質を著しく低下させる不随意運動ですが、薬物治療抵抗性であり、これらに対し外科治療が適用されます。我々が行っている視床凝固術は振戦に対し著しい治療効果を示しますが、至適治療部位が内包に近接する視床腹外側部であり、手術合併症軽減の意味からも、可能な限り小範囲の本質的治療部位を同定し治療を行う必要があります。

[研究の目的]

この研究は、薬によって改善しない治療の難しい脳卒中後振戦に対して、細い電極を脳に刺入し調べた視床の電気活動データ等と共に、定位的視床手術（凝固術）の外科治療効果を解析し、本態性振戦患者さんのそれと比較して、治療に必要、かつ重要な最小の視床部位を明らかにする研究です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

群馬大学医学部附属病院脳神経外科において、1980年より2012年までに微小電極法を併用して定位的視床凝固術を施行した脳卒中後振戦の患者さん14人、本態性振戦の患者さん20人、計34人の患者さん

●研究期間

2021年8月1日より2022年7月31日

●利用する情報

一般診療に用いた診療記録、手術記事、手術中の電気生理学的データ、診断、治療のために撮影された各種画像

●情報の管理

個人の資料・データ（脳神経活動記録、脳波等）はすべて群馬大学医学部附属病院内脳神経外科脳波室等で管理しています。個人の資料・データについては匿名化を行い、誰の資料・データであるか分からないようにします。データは研究者のみが使用し、脳神経外科の施設できる場所に保管します。

[研究組織]

渋川医療センター¹、群馬大学附属病院²

平戸政史^{1,2}、高橋章夫¹、宮城島孝昭²、好本裕平²

[個人情報取扱い]

研究成果は、学会や学術雑誌などで学術目的のために発表されますが、お名前、住所など患者さんの個人情報は特定できないようにします。

[利益相反]

後方視的研究であり、既に収集されたデータのみを用います。患者さん個人への謝礼等直接的利益はありません。

研究者はいずれも利益相反はありません。特定の外部企業、団体などでの活動はなく、個人的報酬を得ることもありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口(連絡先)】

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター
〒377-0280

群馬県渋川市白井383

電話 0279-23-1010(代表)

FAX 0279-23-1011

部署:脳神経外科

職名:特任部長

氏名:平戸政史